



## D コマンド

---

この章では、D で始まる Cisco NX-OS の仮想ポート チャンネル (vPC) コマンドについて説明します。

# delay restore

ピアの隣接がすでに確立されている場合に、リロード後に復元した vPC ピア デバイスの起動より仮想ポート チャンネル (vPC) を遅らせるには、**delay restore** コマンドを使用します。デフォルトの遅延値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
delay restore {time | interface-vlan time}
```

```
no delay restore [interface-vlan]
```

## 構文の説明

<i>time</i>	復元した vPC ピア デバイスの開始を遅らせる秒数。有効な範囲は 1 ~ 3600 です。
<b>interface-vlan</b>	インターフェイス VLAN の起動に遅延を指定します。

## コマンド デフォルト

30 秒

## コマンド モード

vPC ドメイン コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。
5.1(3)N1(1)	<b>interface-vlan</b> キーワードが追加されました。

## 使用上のガイドライン

vPC ピア デバイスを復元するときに、アクセス デバイスからコアへのアップストリーム トラフィックがドロップされないようにするには、**delay restore** コマンドを使用します。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、vPC リンクにリロードの遅延時間を設定する例を示します。

```
switch(config)# vpc domain 1
switch(config-vpc-domain)# delay restore 10
switch(config-vpc-domain)#
```

次に、インターフェイス VLAN にリロードの遅延時間を設定する例を示します。

```
switch(config)# vpc domain 1
switch(config-vpc-domain)# delay restore interface-vlan 100
switch(config-vpc-domain)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show vpc</b>	vPC 設定情報を表示します。

# description (ポート プロファイル)

ポート プロファイルの目的のサマリーを入力するには、**description** コマンドを使用します。ポート プロファイルの説明のサマリーを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**description** *text*

**no description**

構文の説明	<i>text</i>	ポート プロファイルの目的の要約。要約のテキストは最大 80 文字で、スペースを含めることができます。
-------	-------------	---

コマンド デフォルト	なし
------------	----

コマンド モード	ポート プロファイル コンフィギュレーション モード
----------	----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ポート プロファイルの目的を明確にするために、ppEth という名前のポート プロファイルの説明を入力する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile ppEth
switch(config-port-prof)# description Port profile to configure batch commands for Ethernet interfaces
switch(config-port-prof)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>copy running-config startup-config</b>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
	<b>show port-profile</b>	ポート プロファイルに関する情報を表示します。
	<b>show port-profile brief</b>	ポート プロファイルに関する要約情報を表示します。
	<b>show port-profile name profile_name</b>	特定のポート プロファイルに関する情報を表示します。
	<b>show running-config port-profile</b>	ポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。

# dual-active exclude interface-vlan

vPC コンフィギュレーション自体ではなく、vPC ピア リnkを通過した VLAN の vPC ピア リnkに障害がある場合、仮想ポート チャンネル (vPC) のセカンダリ ピア デバイスで特定の VLAN インターフェイスがシャットダウンしないようにするには、**dual-active exclude interface-vlan** コマンドを使用します。デフォルト値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**dual-active exclude interface-vlan** {range}

**no dual-active exclude interface-vlan** {range}

## 構文の説明

<i>range</i>	シャットダウンしないようにする VLAN インターフェイスの範囲。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
--------------	--

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

vPC ドメイン コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

VLAN インターフェイスがあらかじめ設定されている必要があります。  
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、ピア リnkに障害がある場合でも vPC ピア デバイスで VLAN インターフェイスが稼働し続けるようデバイスを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# vpc domain 5
switch(config-vpc-domain)# dual-active exclude interface-vlan 10
switch(config-vpc-domain)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>copy running-config startup-config</b>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
<b>show vpc</b>	vPC コンフィギュレーション情報を表示します。